

令和4(2022)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 電気事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	1,951	1,959	2,052	101	・料金収入は、FIT 発電所の販売増 等により増 非FIT分:9百万円減 FIT分:91百万円増 とちぎふるさと電気: 19百万円増
	その他収入	55	58	66	11	
	計	2,006	2,017	2,118	112	
支 出	人件費	419	391	391	▲ 28	・人件費は、職員構 成の若年化等により 減
	減価償却費	539	490	493	▲ 46	・減価償却は、工事 の進捗状況により減
	修繕費	326	308	373	47	・修繕費は、前年度 の繰越工事が完了 したことにより増
	その他支出	820	926	806	▲ 14	
	計	2,104	2,115	2,063	▲ 41	
経 常 損 益		▲ 98	▲ 98	55	153	

剰余金残高	676		1,322	646	
-------	-----	--	-------	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	1,993	1,993	763	▲ 1,230	・借入金は、風見発電 所全面改修事業の建 屋取壊し等に不測の 期間を要したことに伴 う、事業の遅延により 減
	その他収入	1	9	1	0	
	計	1,994	2,002	764	▲ 1,230	
支 出	建設改良費	2,205	2,574	1,083	▲ 1,122	・建設改良費は、借入 金同様、風見発電所 全面改修事業の遅延 により減
	借入金償還金	109	110	109	0	
	その他支出	42	42	37	▲ 5	
	計	2,356	2,726	1,229	▲ 1,127	
差 引		▲ 362	▲ 724	▲ 465	▲ 103	

借入金残高	5,731		2,599	▲ 3,132	
-------	-------	--	-------	---------	--

経営指標による経営状況

	収益性			安全性		老朽化の状況			
	経営資本 営業利益率	営業収支比率	経常収支比率	流動比率	自己資本 構成比率	有形固定資産 減価償却率			
	・経営資本でど れだけの営業利 益を上げたか で、高いほど良 好	・営業活動の能 率で、高いほど 良好	・経常的な企業 活動の効率性 で、高いほど良 好	・短期的な支払 能力で、高いほ ど経営基盤は安 定	・総資本に対す る自己資本の割 合で、高いほど 経営基盤は安定 (単位:%)	・償却対象資産 の減価償却がど の程度進んでい るかを表す指標			
平成30年度決算値	2.02	118.03	116.73	793.68	80.85	65.32			
令和元年度決算値	2.15	119.22	118.78	851.44	80.3	66.14			
令和2年度決算値	2.38	119.58	118.51	862.68	80.90	62.56			
令和3年度決算値	▲ 0.55	95.6	93.67	917.9	79.52	63.46			
令和4年度決算値	0.62	105.20	102.66	383.37	74.29	64.41			
全国平均(令和3年度決算値)	-	128.70	129.60	842.10	81.30	60.70			
説明	<p>風見発電所全面改修事業に伴う発電停止により料金収入が減少し、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、経常収支比率の3指標は改修前に比べ低い値となったが、固定価格買取制度(FIT)の適用を受けた五十里発電所等の供給電力量が増加したことで経営状況は昨年度より改善した。さらに、風見発電所の発電再開後はFITの適用を受けた料金収入の増加により、経営状況は一層改善する見込みである。</p> <p>経営の安全性を示す流動比率は、翌年度に償還する多額の企業債があるため全国平均を大きく下回っているが、良好である水準(200%)を超えている。</p> <p>また、自己資本構成比率は企業債を新たに借入れしたことにより前年度から5%程度減少したが、資本の比率は変わらず高い水準にあり経営基盤は安定している。</p> <p>有形固定資産減価償却率では償却資産の減価償却が6割を超えて進んでいるが、これは日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでいるところであり、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

電気事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 財務基盤を強化するため、5か年で合計10億円以上の経常利益を確保します。
決算累計値	▲81百万円
評価	C
評価に係る説明	令和4年度はFITを適用する発電所の供給電力量が増加したことや費用の削減等により黒字となったが、風見発電所全面改修事業の遅延により発電再開が遅れ、目標達成は厳しい見込みでありC評価とした。なお、R8年度には合計10億円以上の経常利益を確保する見込み。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量 (年間供給電力量)	各発電所の事故・ 故障等停止時間	一般会計への繰出額	
目標値	R4年度 186,000MWh	R4年度 各発電所72時間以内	計画累計値140百万円 5か年で累計 350百万円	
実績(累計)値	R4年度 183,052MWh	R4年度 527時間(1発電所のみ)	累計 175百万円	
評価	B	B	A	
評価に係る説明	取水ダム周辺の年間降水量が少なく(3ダム計平年比94.7%)、目標値を若干下回ったため(目標比98.4%)、B評価とした。	稼働中11発電所のうち1発電所(小網発電所)が目標を下回ったため、B評価とした。	とちぎふるさと電気の販売が好調で繰出額が増えたため、A評価とした。	

(2) 取組実績等

経営方針	令和4(2022)年度の実績	令和5(2023)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の計画的な更新や耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ▶川治第一発電所屋外機器更新(R4～R5) ▶足尾発電所水圧鉄管等耐震補強詳細設計(R4～R5) ▶板室発電所屋外照明設備更新 ▶木の俣発電所発電機固定子更新(R2～R4) ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶感染症対策の徹底、テレワーク・Web会議の推進 ○実践的な災害対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムを対象とした洪水対応演習(6月実施) ▶事故故障発生時の対応訓練(11月,1月実施) ▶発電所、ダムの油流出対応訓練(9月,1月実施) ▶地震発生時の対応訓練(8月,2月実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の計画的な更新や耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ▶川治第一発電所屋外機器更新(R4～R5) ▶足尾発電所水圧鉄管等耐震補強詳細設計(R4～R5) ▶渡良瀬取水堰予備発電装置更新工事 ▶餅ヶ瀬取水堰直流電源装置更新工事 ▶深山発電所取水堰法面地質調査業務委託 ▶深山発電所取水堰落石防護網撤去再設置工事 ○業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶感染症対策の徹底、テレワーク・Web会議の推進 ○実践的な災害対応訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムを対象とした洪水対応演習 ▶事故故障発生時の対応訓練 ▶発電所、ダムの油流出対応訓練 ▶地震発生時の対応訓練
収益の確保と経費削減による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備点検による電力の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気工作物保安規程に基づく設備の点検や測定試験 ○既設発電所の全面改修等(FIT適用)による収益力向上 <ul style="list-style-type: none"> 【風見発電所全面改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶主要機器の製作、発電所本館の建築、除じん機の更新等 【深山発電所大規模改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶主要機器の設計製作、水力設備の実設計 ▶除じん機更新等の工事発注 ○既設発電所の供給電力量増加に向けた調査検討 <ul style="list-style-type: none"> ▶4発電所(板室、川治第二、川治第一、足尾)における供給電力量増加に向けた改修計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な設備点検による電力の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気工作物保安規程に基づく設備の点検や測定試験(川治第一発電所内部点検) ○既設発電所の全面改修等(FIT適用)による収益力向上 <ul style="list-style-type: none"> 【風見発電所全面改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶令和6年3月の発電開始に向けた着実な工事実施 【深山発電所大規模改修】 <ul style="list-style-type: none"> ▶令和7年度の発電開始に向けた着実な工事及び関係機関との協議実施 ○既設発電所の供給電力量増加に向けた調査検討 <ul style="list-style-type: none"> ▶板室発電所の改修に向けた予算化(R6～R8予定) ▶川治第二発電所の改修検討 ○電力市場等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ▶容量市場及び発電側課金に関する東京電力エナジーパートナー(株)との協議実施

経営方針	令和4(2022)年度の実績	令和5(2023)年度の実績予定
組織力の強化	<p>「栃木県企業局技術職員人材育成基本方針」を策定し、人材育成の施策や推進体制を明確化</p> <p>○人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別研修体系に基づく研修の実施 ▶新任及び新採用職員に対するTLやメンターの指導 ▶養成費による各研修会参加及び資格取得支援(ダム管理主任技術者研修、クレーン運転士等) <p>○保安の高度化や業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶タブレット端末を使用した点検システムを構築して1月からシステム仮運用 ▶ウェアラブルカメラを用いた故障復旧対応の検証 <p>○業務に必要な人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶大学・高校訪問による電気事業の魅力等のPR <ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問1校(9月、3月)、工業系高校訪問9校(6月) ▶現場見学会の開催6名(8月、3月) ▶技術職インターンシップの受入れ <ul style="list-style-type: none"> ・今市工業高等学校3名(10月) 	<p>栃木県企業局技術職員人材育成基本方針に基づく取組</p> <p>○人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別研修体系に基づく研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修会・講習会への参加 ・内部研修の強化、OJTによる技術継承 <p>○保安の高度化や業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶タブレット端末を使用した点検システムの本格運用 ▶センサー類を活用したデータ一元管理による保安システムの構築検討(風見発電所) <p>○業務に必要な人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶社会人経験者の積極的な採用及び再任用職員の計画的な配置 ▶採用の周知を図るため、以下の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・工業系高校訪問を継続するとともに、新たに電気職受験者確保担当者を指名し、出身大学に電気事業の魅力のPR ・技術職現場見学会の開催 ・大学生、工業高校生のインターンシップ受入れ ・電気職PR動画のYouTube公開

経営方針	令和4(2022)年度の実績	令和5(2023)年度の実績予定
事業利益等を活用した 地域貢献の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶4社10事業所と新たに契約、合計18社29事業所 ▶日光地域のEVバスやEバイク導入などを支援 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ▶とちぎビジネスAIセンター運営や博物館開館40周年記念特別企画展などを支援 ○ダムカードや発電所カードの配布による水力発電所の観光資源としての活用 <ul style="list-style-type: none"> ▶ダムカード配布 2,971枚 ▶発電所カード配布 27,803枚 ○環境イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ▶足尾植樹イベントへの苗木の寄付及びボランティア参加(4月) ▶風見発電所全面改修事業現地説明会の開催(6月、3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援 ○地域振興積立金の活用によるSDGs関連事業の支援 ○ダムカードや発電所カードの配布、現地見学会による水力発電所の観光資源としての活用 ○風見発電所発電開始式の開催 ○環境イベントへの参加
SDGs 達成 への 貢献 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○「新たなクリーンエネルギーの活用」による気候変動対策への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ▶地域マイクログリッド事業事例調査(群馬県5月) ▶水素ステーション実証モデル事業事例調査(長野県1月) ○供給電力量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ○水力発電による「クリーンエネルギーの供給」やとちぎふるさと電気の販売を通じた事業者の「温室効果ガス削減」への貢献 ○供給電力量最大化による「脱炭素社会の実現」への貢献 ○洪水被害の防止・軽減を目的とした事前放流に伴う「治水対策」への貢献

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・FIT適用発電所による料金収入の増加等により黒字となったが、風見発電所全面改修の遅延により運転再開が遅れ、目標達成は厳しい見込み。		(2)事業の取組実績等 ・風見発電所全面改修は遅延が生じたものの、その後は着実に実施した。また、深山発電所大規模改修は計画どおり工事を発注した。 ・とちぎふるさと電気は、カーボンニュートラル促進による企業ニーズの高まりを受け、新たに4社10事業所と契約を締結し、販売電力量も着実に増加した。			評価	
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・年間供給電力量は、取水ダム周辺の年間降水量が少なかったため、目標値を若干下回った。					B	
評価委員会の評価等						
【財務面】 損益は黒字となったが、風見発電所全面改修の遅延により運転再開が遅れ、目標達成は厳しい見込みである。					評価	
【事業面】 年間供給電力量及び事故・故障等停止時間は目標に達しなかったが、一般会計への繰出額は増加している。					B	
【取組実績】 風見発電所全面改修は遅延が生じたものの、その後は着実に実施している。とちぎふるさと電気による環境保全事業の支援は進展している。						
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	B	B				
評価委員会の評価	B	B				

今後の取組課題・改善点等

- ・目標達成は厳しい見込みとなったが、引き続き風見発電所全面改修や深山発電所大規模改修を着実に推進し、安定した料金収入を確保する。
- ・発電施設の保守管理や実践的な災害対応訓練を強化して事故・故障等停止時間を抑制し、電力の安定供給を図る。
- ・風見発電所発電再開後の安定した経常利益を活用し、累積欠損金の早期解消や施設の計画的な更新・耐震化、一般会計への繰出しによる地域貢献の拡充を図る。
- ・持続可能な社会の実現に向けて、水力発電事業を通じたSDGs達成に貢献する。

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,897	1,951	3,202	3,156	3,381
		当 初 予 算 額		1,897	1,959			
		決 算 額	2,269	1,953	2,052			
	そ の 他 収 入	計 画 額		55	55	55	55	55
		当 初 予 算 額		55	58			
		決 算 額	65	51	66			
支 出	人 件 費	計 画 額		458	419	484	495	495
		当 初 予 算 額		458	391			
		決 算 額	412	399	391			
	減 価 償 却 費	計 画 額		490	539	698	771	840
		当 初 予 算 額		490	490			
		決 算 額	484	500	493			
	修 繕 費	計 画 額		282	326	412	600	376
		当 初 予 算 額		282	308			
		決 算 額	190	180	373			
	そ の 他 支 出	計 画 額		1,064	820	871	1,147	967
		当 初 予 算 額		1,064	926			
		決 算 額	883	1,061	806			
経 常 損 益		計 画 額		▲ 342	▲ 98	792	198	758
		当 初 予 算 額		▲ 342	▲ 98			
		決 算 額	365	▲ 136	55			
剰 余 金 残 高			1,377	1,258	1,322			

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		1,943	1,993	750	0	0
		当 初 予 算 額		1,943	1,993			
		決 算 額	131	296	763			
	そ の 他 収 入	計 画 額		1	1	1	1	1
		当 初 予 算 額		1	9			
		決 算 額	7	9	1			
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		2,444	2,205	2,119	1,461	705
		当 初 予 算 額		2,444	2,574			
		決 算 額	637	603	1,083			
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		175	109	212	153	118
		当 初 予 算 額		175	110			
		決 算 額	184	175	109			
	そ の 他 支 出	計 画 額		37	42	42	42	42
		当 初 予 算 額		37	42			
		決 算 額	11	29	37			
差 引	計 画 額		▲ 712	▲ 362	▲ 1,622	▲ 1,655	▲ 864	
	当 初 予 算 額		▲ 712	▲ 724				
	決 算 額	▲ 694	▲ 502	▲ 465				

借 入 金 残 高	1,823	1,945	2,599			
-----------	-------	-------	-------	--	--	--

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	2.38	▲ 0.55	0.62			
営業収支比率	決算値	119.58	95.60	105.20			
経常収支比率	決算値	118.51	93.67	102.66			
流動比率	決算値	862.68	917.90	383.37			
自己資本構成比率	決算値	80.90	79.52	74.29			
有形固定資産減価償却率	決算値	62.56	63.46	64.41			

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
5か年で合計10億円以上の 経常利益を確保	計画累計値		▲ 342	▲ 440	352	550	1,308
	決算累計値		▲ 136	▲ 81	(▲484)	(▲286)	(472)
	評価		C	C			

※ 括弧書きは現時点における見込値

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給電力量)	目標値		183,000MWh	186,000MWh	227,000MWh	223,000MWh	245,000MWh
	累計値	219,181MWh	182,303MWh	183,052MWh			
	評価		B	B			
各発電所の事故・ 故障等停止時間	目標値		72時間	72時間	72時間	72時間	72時間
	実績値	5時間	102時間	527時間			
	評価		B	B			
一般会計への繰出額 5か年で累計350百万円	計画累計値		70百万円	140百万円	210百万円	280百万円	350百万円
	実績累計値	41百万円	79百万円	175百万円			
	評価		A	A			